

# 第1回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会

## [整備イメージ素案]

笠岡市 建設部 都市計画課

平成30年9月5日

※本資料は、本委員会での検討を目的としたものであり、事業費や空間の制約を考慮せず検討したものであることに留意し、取扱いには、注意をお願いします。

# 整備イメージ素案の考え方

整備方針案を元に、具体的な整備内容をイメージしやすくするため、たたき台として以下の5案を抽出する ※用地、事業費等は考慮していないことに注意を要する

## <整備方針(案)>

### ◎南北市街地の分断解消

- 南北自由通路の整備
- デッキの整備

### ◎南口からのアクセス改善

- 駅施設の整備・改良
- 南口改札の新設

### ◎交通結節機能の強化

- 南口広場の整備
- 北口広場の再整備

### ◎駅と港・商店街等との連携強化

- 歩行者動線の整備
- バス路線の検討

### ◎駅周辺のにぎわい創出、地域情報発信

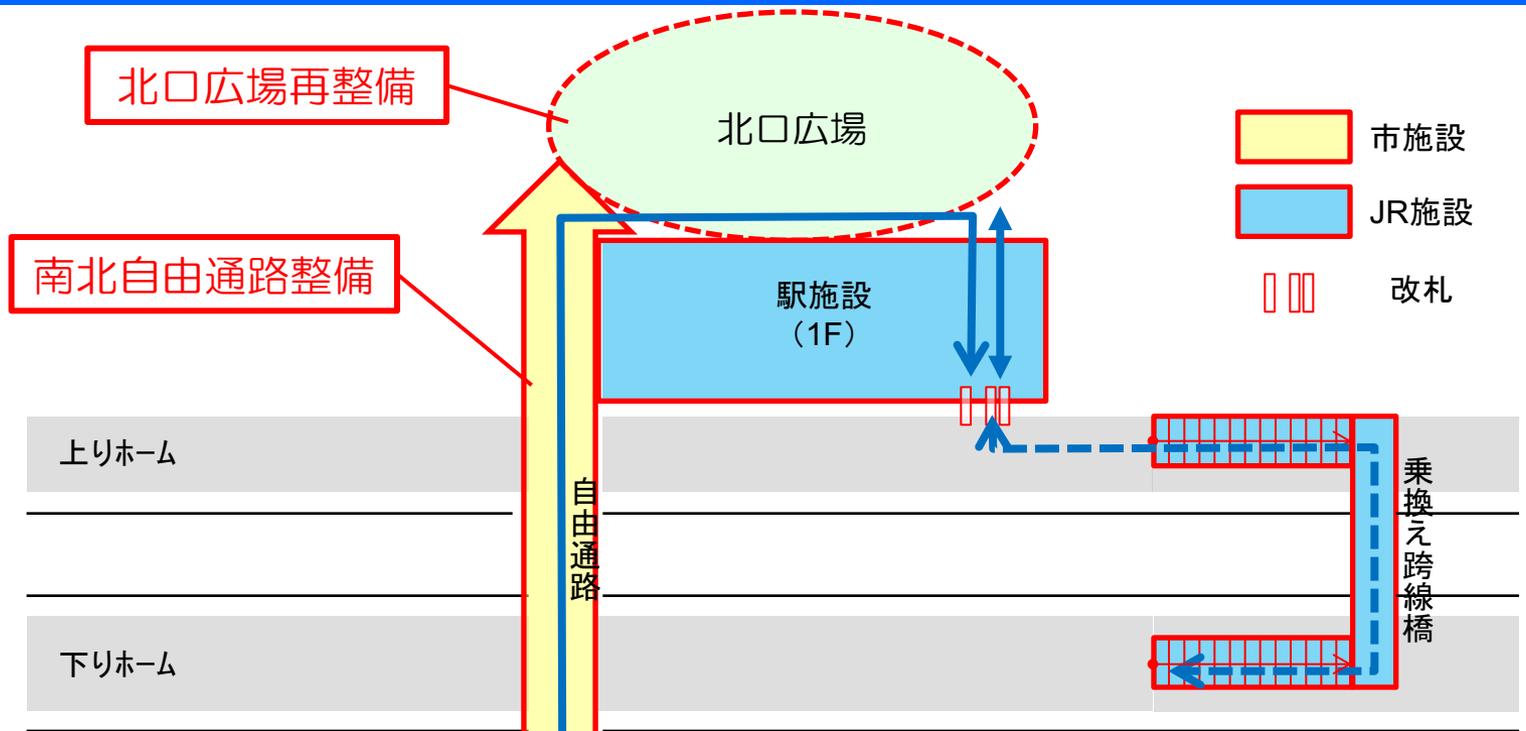
- 各種街づくり事業の推進(別途)
- 官民連携事業等の模索



## <整備イメージ素案>

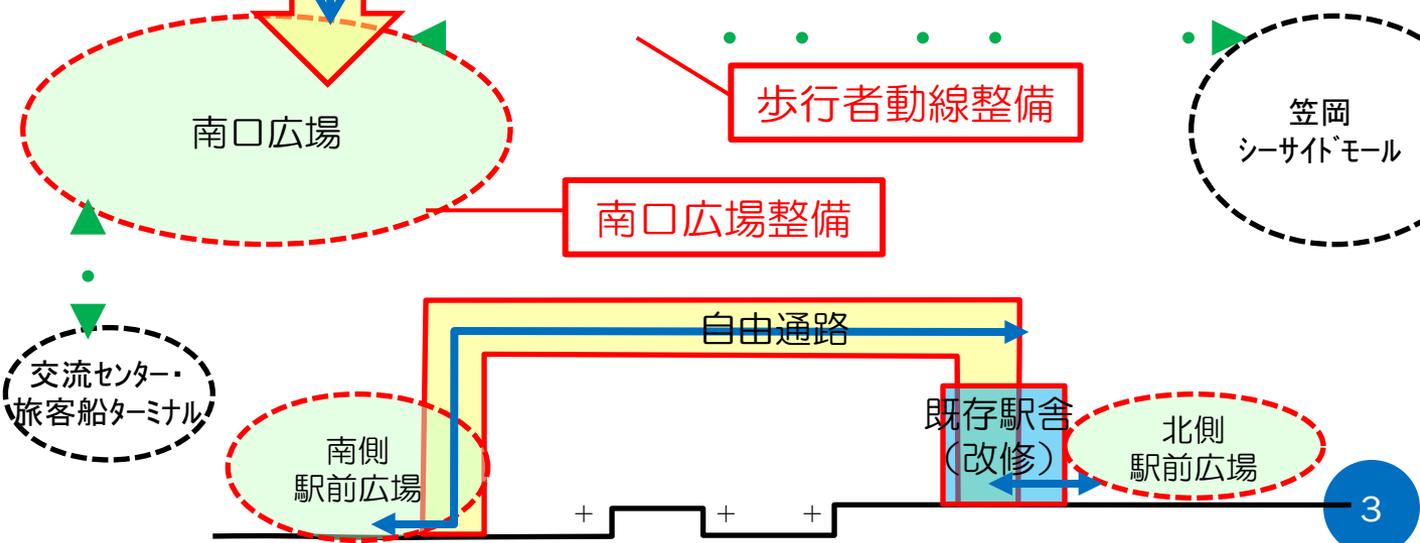
	自由通路整備	駅施設整備・改良	駅前広場整備 (南北)	その他 (歩行者動線等)
案① 自由通路整備案	○	—	○	○
案② 自由通路+橋上駅整備案	○	○	○	○
案③ 自由通路+簡易橋上駅整備案	○	○	○	○
案④ 南口改札新設案	—	○	○	○
案⑤ 自由通路+南口改札新設案	○	○	○	○

# 案① 南北自由通路整備案

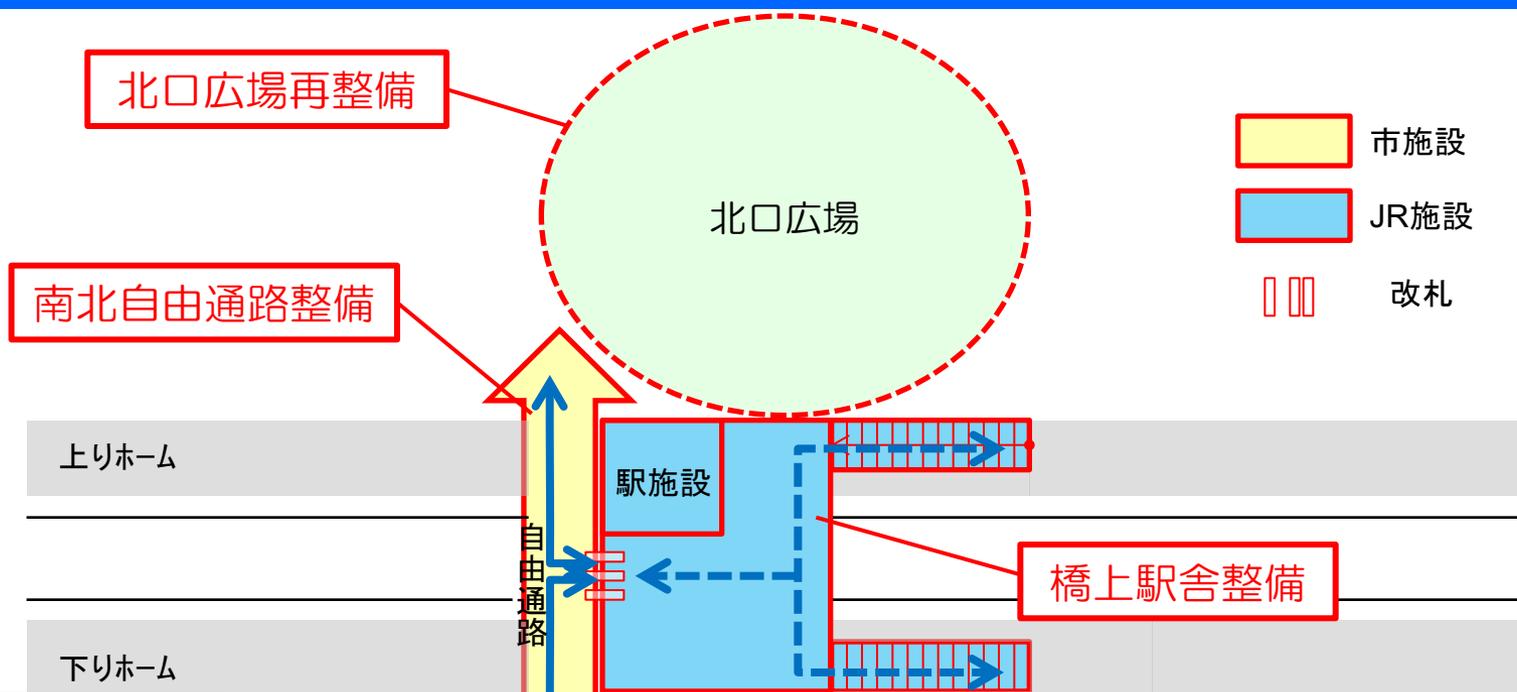


**特徴・課題**

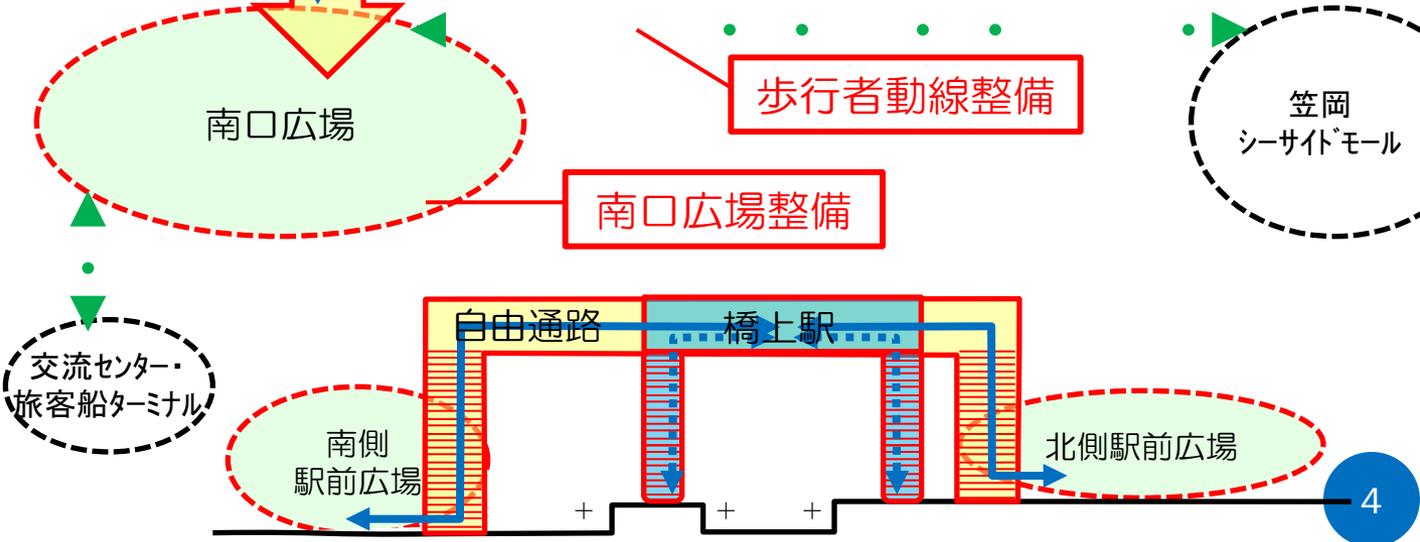
- 自由通路により市街地分断解消が可能であるが駅舎は北側のみ
- 乗り換え跨線橋の老朽化の課題は残る



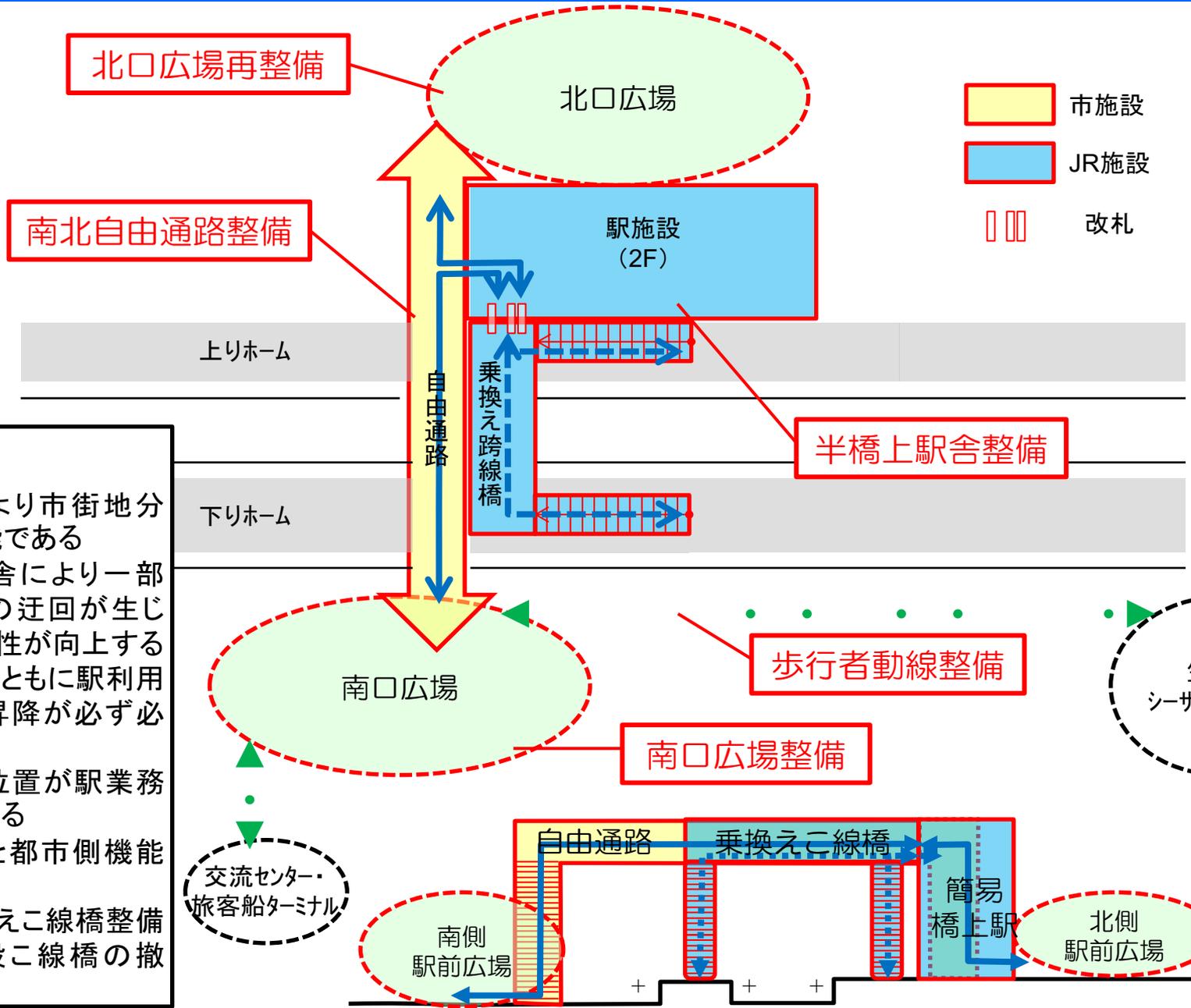
# 案② 橋上駅整備案



- 特徴・課題**
- 自由通路により市街地分断解消が可能である
  - 橋上駅舎により南北とも鉄道利用の利便性が高い（ただし、南北ともに駅利用には階段の昇降が必ず必要）
  - 自由通路の位置が駅業務施設に支障する
  - 新たな乗り換えこ線橋整備が必要（既設こ線橋の撤去）



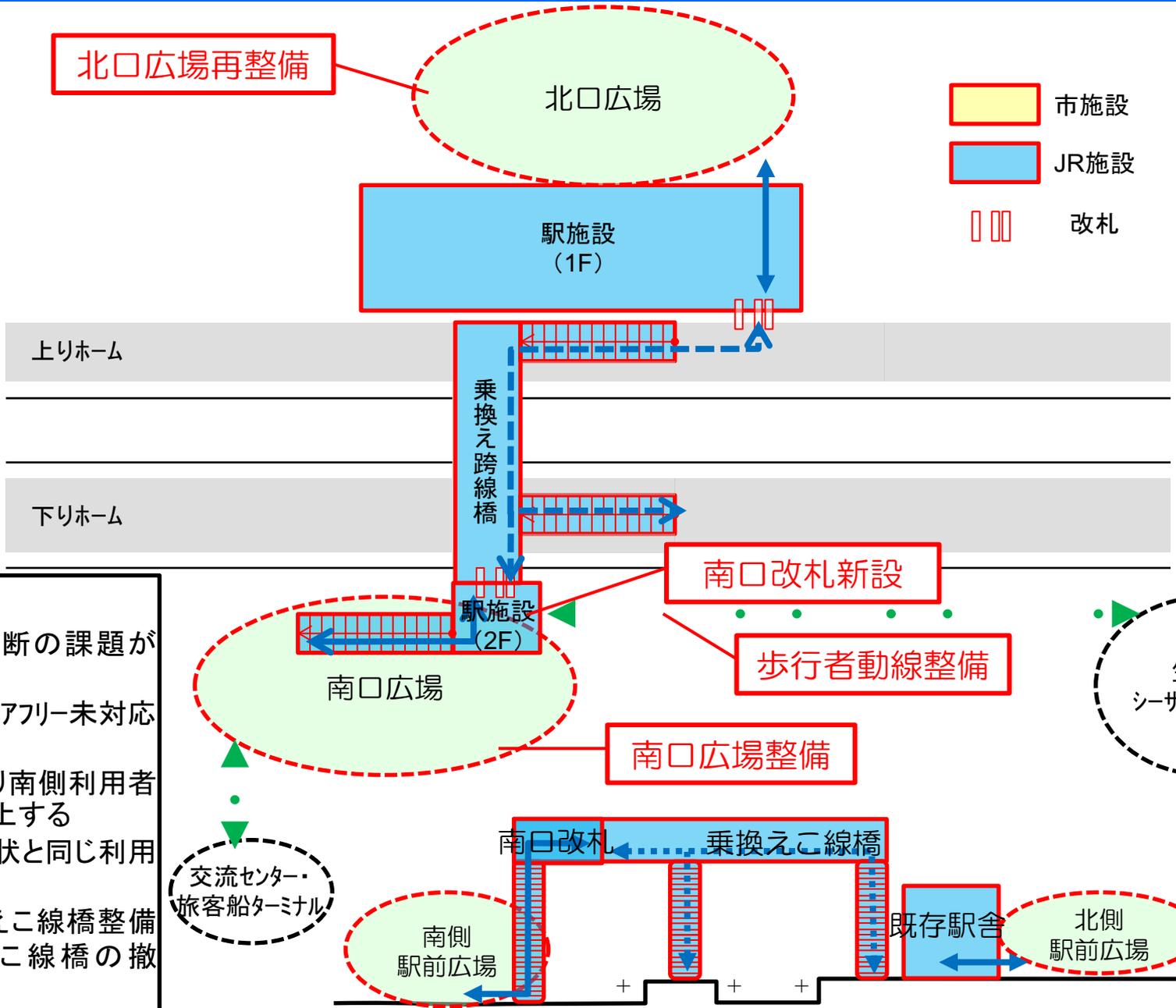
# 案③ 簡易橋上駅整備案



- 特徴・課題**
- 自由通路により市街地分断解消が可能である
  - 簡易橋上駅舎により一部南側利用者の迂回が生じるものの利便性が向上する(ただし、南北ともに駅利用には階段の昇降が必ず必要)
  - 自由通路の位置が駅業務施設に支障する
  - 簡易橋上駅と都市側機能の合築も可能
  - 新たな乗り換えこ線橋整備が必要(既設こ線橋の撤去)

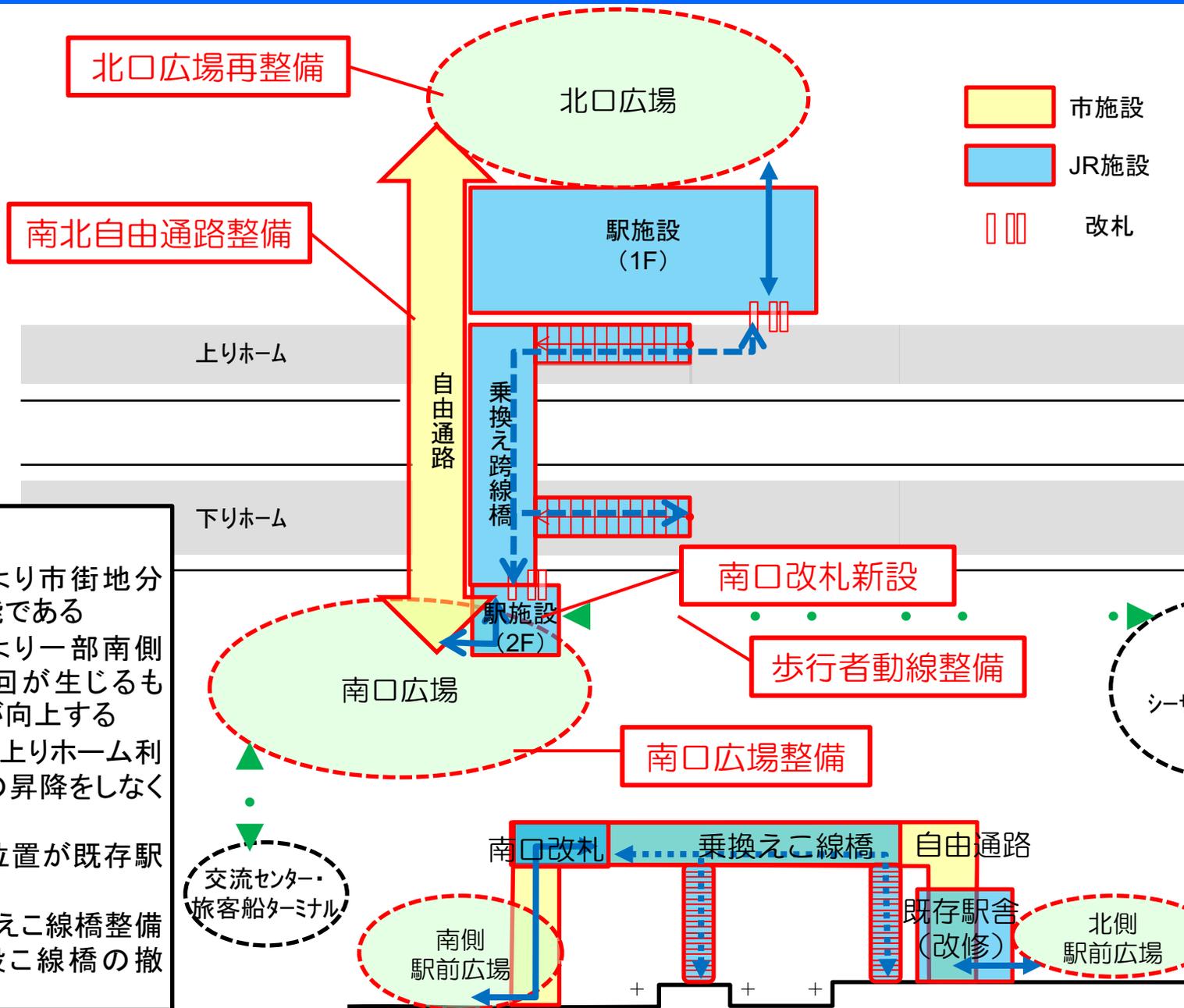
交流センター・  
旅客船ターミナル

# 案④ 南口改札新設案



- 特徴・課題**
- 南北市街地分断の課題が残る
  - 南北横断はバリアフリー未対応のままとなる
  - 南口改札により南側利用者の利便性が向上する
  - 既存駅舎は現状と同じ利用が可能
  - 新たな乗り換えこ線橋整備が必要(既設こ線橋の撤去)

# 案⑤ 南北自由通路＋南口改札新設案



- 特徴・課題
- 自由通路により市街地分断解消が可能である
  - 南口改札により一部南側利用者の迂回が生じるものの利便性が向上する
  - 駅北側からは上りホーム利用時は階段の昇降をしなくてよい
  - 自由通路の位置が既存駅舎に支障する
  - 新たな乗り換え跨線橋整備が必要(既設跨線橋の撤去)

# 課題への対応状況

課題への対応状況から、今後案②、案③及び案⑤について、事業費、工期等を踏まえて深度化していく

	案①	案②	案③	案④	案⑤
	自由通路整備案	橋上駅舎整備案	簡易橋上駅舎整備案	南口改札新設案	自由通路+南口改札新設案
南北市街地の分断解消	○	○	○	×	○
南口からのアクセス改善	△ (既存駅舎経由で迂回が必要)	○ (南北とも階段の昇降が必要)	○ (南北とも階段の昇降が必要)	○	◎ (駅北側からは現状と同じ利用が可能)
交通結節機能の強化	○	◎ (北側広場の拡大も可能)	○	○	○
駅と商店街等との連携強化	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)
駅周辺のにぎわい創出、地域情報発信	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)	○ (駅舎との合築も可能)	△ (別事業による対応)	△ (別事業による対応)

今後、以下の事項を整理・深度化させる

## ◆整備計画案の検討・比較

- 駅前広場等の導入機能、必要規模等の整理
- 駅前広場・駅施設等のレイアウトの検討
- 関係機関、事業者等との調整
- 事業費、用地、工期等により案のしぼりこみ